

ガルボンS-HB ID

タイプ 無機ジンクリッチペイント

- 特長
- ①長期防食、防さび性優秀
 - ②厚塗り可能（1回塗75μm）
 - ③速乾性
 - ④有機上塗り性良好

用途 海洋構造物、橋梁、プラント、その他一般鋼材等の長期防食用

塗料性状

混合比率（質量比）	主剤：粉末 = 25：75
色	グレー
密度	2.63 g/mL
重量VOC	18.9 wt%

標準塗付量

標準膜厚

エアレススプレーの場合
600 g/m ²
ドライ 75 μm
ウェット 125 μm

	5℃	10℃	20℃	30℃
乾燥時間・・・指触硬化	40分 2.5時間	30分 2時間	20分 1.5時間	10分 1時間
塗装間隔・・・最短* 最長	72時間 —	32時間 —	24時間 —	18時間 —
可使時間・・・	8時間	7時間	6時間	5時間

塗装条件

塗装方法	エアレススプレー、はけ塗り（タッチアップ用）
気象	温度：0～50℃、湿度：50～85%R.H.
エアレススプレー時	適正粘度：（Fc#4）10～12秒 チップNo.：（GRACO）419, 519 一次（空気）圧：0.3～0.4 MPa 二次（塗料）圧：8.8～11.8 MPa ガン移動速度：60～80 cm/秒
シンナー	無機ショット用シンナーH、 希釈率：エアレススプレーの場合 0～5%[重量]（0～7%[容量]）、 はけの場合 0～5%[重量]
素地調整	ISO Sa 2 1/2
適合下塗	—
適合上塗	エポキシ系塗料

使用上の注意

①* 塗装間隔は有機塗料を塗り重ねる場合です。
ただし、没水部に適用する場合には、制限がありますので最寄の弊社営業所にお問い合わせ願います。

没水部に適用する場合の塗装間隔（最短）

温度	5℃	10℃	20℃	30℃
塗装間隔（最短）	有機系 14日	10日	7日	7日

- なお、耐酸、耐アルカリ性が要求される部分への使用はできません。
- ②換気、火気に十分注意して下さい。なお、塗装のみならず、塗膜が硬化するまで換気が必要です。
 - ③主剤を攪拌しながら少しずつ粉末を混合し、一樣になるまで動力攪拌機を使用して攪拌して下さい。粉末中に主剤を入れると混合不良を起すので注意して下さい。
 - ④混合攪拌の速度はゆるくして下さい。速いと粘度上昇し固化します。調合後も、塗料は常にゆるやかに攪拌し、沈殿のないようにして下さい。攪拌が強すぎると、塗料粘度が上昇し、ゲル化することがありますので、攪拌は必ずゆるやかに行って下さい。
 - ⑤水分の混入は避けて下さい。混入すると粘度上昇し固化します。
 - ⑥スプレーガンが被塗面からあまり離さないで下さい。離れ過ぎるとドライスプレーになります。
 - ⑦膜厚は最大限150μm迄として下さい。それ以上はクラックを生じることがあります。
 - ⑧湿度が低い場合、硬化速度が遅くなります。
 - ⑨ガルボンS-HB ID塗膜上に塗装する場合には、ミストコートが必要です。
 - ⑩夏期（6～9月）の塗装でスプレーダストが多い場合には、無機ショット用シンナーSSSを使用して下さい。
 - ⑪SDSおよび容器に表示の注意事項をよく読んで取り扱い下さい。

ガルボンS-HB ID (2016年2月版)

荷 姿 10kgセット、25kgセット

危険物表示	主剤	粉末
消防庁登録記号	061411	—
引火点	18.9℃	—℃
消防法危険物区分	第一石油類	粉末：非危険物
爆発限界（体積％）	下限 1.1、上限 19	
有機溶剤区分	第二種有機溶剤	

備 考 ①塗装条件等については最寄の弊社営業所にお問い合わせ願います。
②塗料密度およびVOC量は、塗料の代表配合から計算した値です。

注) 標準塗付量は標準的な目安を示したもので、被塗物の形状・その他の条件により異なります。

本製品説明書に記されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる品質の異常は使用者の責任にて対応願います。当社が指定する以外の塗料、添加剤等を混合すると、単に品質の異常をきたすのみならず、安全上の問題が発生することもありますので、使用者の責任において安全性、品質等を確認願います。